

広告出稿のご案内

特集1 生産現場のこれからを支える！ モノづくりトレンド2022

近年、急速に発展してきた新たなデジタル技術や通信技術の波は、生産現場の状況を大きく変え始めています。2021年、製造業でDXへの取組みの必要性が具体的にあちこちで叫ばれるようになったのも、さまざまなデジタル技術が現場で実際に活用できるまでに進歩したことが背景にあるといえるでしょう。自然災害の多発や新型コロナ感染拡大など社会が本格的な“不確実性の時代”に突入したといわれる中、製造業企業が先を見通せない未来を生き抜くために、こうした新技術は強力な武器となるはずです。

本特集では、生産現場で今後導入や活用が進むと予想される新たな技術や、それに伴って製造業企業が今後考えるべき課題など、近年のモノづくりトレンドから8つのテーマを取り上げて解説します。

【構成】

- 総論** 今後の生産現場を支える技術と考えるべき課題…… ジェムコ日本経営 古谷 賢一
テーマ1 生産現場のデジタルツインの今…… 野村総合研究所 小宮 昌人
テーマ2 生産現場でのVRの活用・適用の状況 …… 東京技術協会 鈴木 将人
テーマ3 ローカル5G 現場導入の考え方・進め方 …… NTTコミュニケーションズ 前田 亮
テーマ4 ローコードによるシステム内製化 …… ほんま 本間 峰一
テーマ5 これからの現場改善の強い味方 ITカイゼン …… 法政大学 西岡 靖之
テーマ6 現場デジタル化・IoT化とともに考えるべきIoTセキュリティ …… 情報セキュリティ大学院大学 大久保 隆夫
テーマ7 中小製造業企業のDX実現に不可欠な企業間連携 …… クラウドサービス推進機構 柏原 剛
テーマ8 工場の省エネの考え方・進め方 …… 省エネルギーセンター 藤林 晃夫

特集2 現場の課題を解決する “BOM”活用の基礎知識

モノづくり現場のデジタル化の核となる生産管理システムの中でBOM (Bill Of Materials: 部品表) は主要なマスターとして位置づけられ、モノづくりのルールをBOMに組み込むことで狙い通りの業務をシステムを介して行えるようにしています。しかし、一方でBOM構築というと設計部門が作成したものをそのまま使用し、発注さえできるようにすればよいと単純に考えられているケースも多く、そうした場合には後で人の手による煩わしい調整が必要になります。

本特集では、「そもそもBOMとは何か」といった基礎知識から、生産現場の各場面でよく見られる問題とそれを解決するBOM構造の考え方、さらにその検討に役立つ関連知識を紹介します。

【構成】

- 基礎編** 生産管理システムの主要マスターとBOMの概要
実践編 BOMで実現したい問題解決の方法

日本ビジネスブレン 佐々木 伸

広告締切日

- 広告お申し込み締切日 …… 12/15(水)
 ○データ入稿締切日 …… 12/20(月)
 ○発売日 …… 2022/1/20(木)

◆ 工場管理・本文特集予定

- 3月号 生産現場のロボット活用
 4月号 多能工育成

工場管理

掲載料金表

- 発行部数：36,500部
 ●体裁：B5判・左開き・無線平とじ

記事(1色)	ヨコ1/3	52,800 (48,000)
挿 込	2	217,800 (198,000)
	4	347,600 (316,000)

【特定頁】

場 所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)
表紙1	1	601,700 (547,000)	—	—
表紙4	1	522,500 (475,000)	—	—
表紙2	1	475,200 (432,000)	—	—
表紙3	1	356,400 (324,000)	—	—
本文目次(奇)	1	451,000 (410,000)	—	—
(偶)	1	415,800 (378,000)	—	—
(下)	1/4	—	—	69,300 (63,000)
広告目次(奇)	1	415,800 (378,000)	277,200 (252,000)	224,400 (204,000)
広告目次(偶)	1	379,500 (345,000)	253,000 (230,000)	205,700 (187,000)

【前付】

場 所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	2色 (M+K)	1色 (K)	1色 (K)
第1頁	1	451,000 (410,000)	—	—	—	—	113,300 (103,000)
最終頁	1	—	—	—	—	138,600 (126,000)	89,100 (81,000)
普通頁	1/2	—	—	—	84,700 (77,000)	59,400 (54,000)	48,400 (44,000)
	1	403,700 (367,000)	205,700 (187,000)	154,000 (140,000)	140,800 (128,000)	99,000 (90,000)	81,400 (74,000)
	2	726,000 (660,000)	369,600 (336,000)	279,400 (254,000)	254,100 (231,000)	178,200 (162,000)	147,400 (134,000)
	3	1,059,300 (963,000)	540,100 (491,000)	407,000 (370,000)	370,700 (337,000)	259,600 (236,000)	215,600 (196,000)
	4	1,372,800 (1,248,000)	699,600 (636,000)	528,000 (480,000)	480,700 (437,000)	336,600 (306,000)	278,300 (253,000)

※表示価格は税込金額、()内は税抜き表示です。

◆ B5判広告スペースサイズ

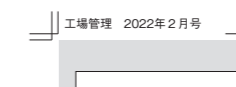
▼原稿サイズ

(仕上がり寸法257×182mm)

スペース	サイズ	普通版 天地×左右(mm)	断切版(ブリード) 天地×左右(mm)
A 表紙	4	225×160	不可
B 1ページ	—	230×160	257×182
C 見開き	—	230×342	257×364
D ヨコ1/2ページ	—	105×150	不可
E タテ1/3ページ	—	225×45	不可
F 記事中ヨコ1/3ページ	—	65×150	不可
G 目次下1/4ページ	—	55×150	不可

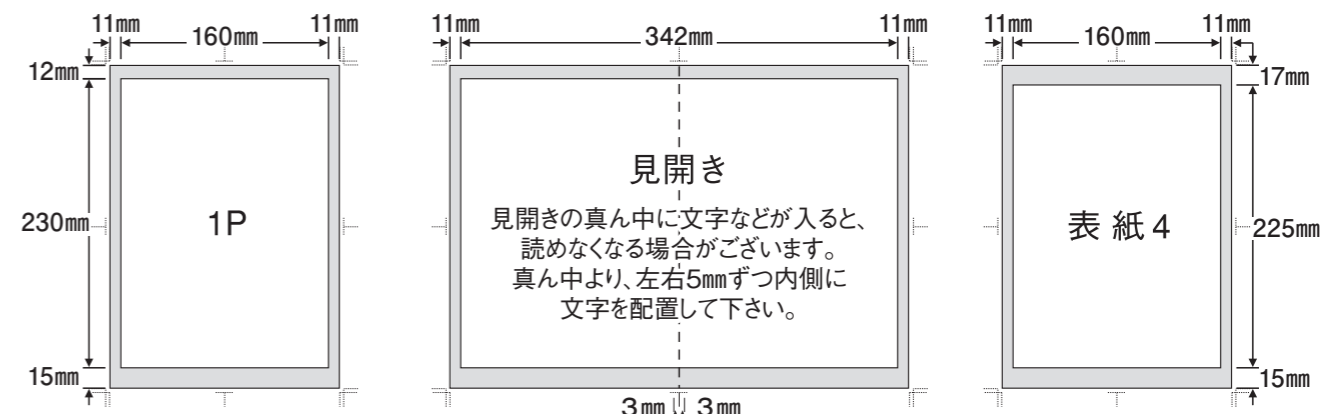
※断切版は断ちしろ3mm加算(天地左右)

●広告データのヘッダー部分に「雑誌名」「発行号」を記入。



●スクリーン線数と解像度(原寸使用時)

- モノクロ：133線(lpi)、240dpi
 カラー：175線(lpi)、350dpi
 入稿データが重ならないように、ご注意ください。



上図の様に「1頁」および「見開き(2頁)」の原稿は、「コーナートンボ」および「センタートンボ」を、1頁はB5版に、見開き(2頁)はB4版に付けて下さい。ブリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、郵下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

日刊工業新聞社 出版局
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
 雑誌部 TEL 03-5644-7447
 FAX 03-5644-7405

大阪支社 ☎ 06-6946-3372
 名古屋支社 ☎ 052-931-6155
 西部支社 ☎ 092-271-5716

制作ガイド

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部 広告原稿データ 入稿仕様書

日刊工業新聞社

広告主名	
担当者	☎ ()

データ制作者 記入欄

会社名	☎ ()
担当者	E-mail アドレス @

入稿メディア	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB	メディア返却の有無 <input type="checkbox"/> 要返却 <input type="checkbox"/> 返却不要
--------	---	---

仕様システム	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい OS Mac <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> 10.x <input type="checkbox"/> _____	● ご記入下さい Windows _____
--------	---	---------------------------

出力ファイル名 (epsでの入稿推奨)	出力見本 (実寸1枚) <input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色 (PDF可) <input type="checkbox"/> 3色 <input type="checkbox"/> フルカラー	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
------------------------	---	---

フォント	フォントは全てアウトライン化して下さい (Adobe Illustrator・InDesign)
※アウトライン化できない場合、使用フォント名を記載してください	

※アウトライン化が出来ない場合は印刷用PDFでのご入稿を推奨いたします (X1-a形式での入稿を推奨)。
※PDF入稿の場合はトンボ及び塗り足しの処理を再度ご確認ください。

原稿タイプ	● 原稿タイプは、裏ページの「サイズ」欄を参照の上 <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G
-------	---

色数	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色(マゼンダ+スミ) <input type="checkbox"/> 2色(シアン+スミ) <input type="checkbox"/> 3色(CMK) <input type="checkbox"/> フルカラー
----	---

アプリケーション	● 使用アプリケーションに <input checked="" type="checkbox"/> チェックし、バージョンをご記入下さい <input type="checkbox"/> Adobe Illustrator _____ ※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> Adobe InDesign _____
----------	--

リンクデータ	● リンクデータに <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 埋め込み <input type="checkbox"/> EPS <input type="checkbox"/> TIFF <input type="checkbox"/> PSD (<input type="checkbox"/> CMYK <input type="checkbox"/> グレースケール <input type="checkbox"/> モノクロ2階調)
--------	--

オーバープリント	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------	---

ハーフトーンスクリーン	● 使用しないで下さい
-------------	-------------

ダブルトーン	● 推奨しておりません。なるべくシアン版、マゼンダ版、ブラック版にて作成下さい。
--------	--

備考:	
-----	--

入稿前にチェックしてください (再確認)

- フォントはすべてアウトライン化 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 孤立点・不要なオブジェクト等は削除 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 入稿データの保存形式は「EPS」を推奨 (ai, PDF 可) ※1.
- aiデータは保存の際「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
- カラー原稿は、CMYKで作成 (RGB、特色厳禁)
- モノクロ原稿はグレースケールで作成 (CMYK、RGB、特色厳禁)
- モノクロ画像はグレースケールまたはモノクロ2階調で作成 (CMYK画像、RGB画像は厳禁)
- 画像データは「適正解像度」にしている
- 画像の保存形式フォーマットはEPS、TIFF、PSDのいずれかにしている ※2.
- EPSオプションは「8bit/pixels」で「ASCII85」で保存している
- ドキュメント設定の透明/プリセットは「高解像度」に設定にしている
- ドキュメントのラスターサイズ効果設定は「高解像度」に設定にしている
- 赤版は「マゼンダ」で、青版は「シアン」で作成 (3色はCMK) ※3.
- 断ちトンボ(トリムマーク)は付けてある (1頁・見開き・表4の場合) ※4.
- 入稿データは、作成したバージョンのまま保存 (下位保存すると破損することがあります)
- 各データには保存形式にあった拡張子を付けている
- 画像データ等のリンクファイルは同一階層(フォルダ等)に収め、画像データのリンク漏れは無い
- 出力見本で、文字化け等の無いことは確認済
- ウイルスチェックは実施済
- オリジナルデータはバックアップ済

※1.) PDFで入稿の際は、「x1-a」形式での入稿を推奨します。

※2.) イラストレーターaiデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「PSD」を推奨します。
イラストレーターepsデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「eps」を推奨します。

※3.) 赤版は、日刊工業新聞社指定の赤を使用します。

※4.) プリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。
紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。
また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

広告原稿 入稿後の進行予定 (営業日内)

- ① 入稿日(受付時間: 14時まで)に完全原稿 14時以降は翌日扱いになります。
- ② 入稿日の中2日後にプルーフ出力。
出力(プルーフ): モノクロ・2色は1枚、3色・フルカラーは2枚。 ※表紙と表4については1枚。
- ③ 入稿日の翌々日着で、上記出力を送付 [佐川急便] ⇒ 出力確認・責了。
※上記以外の出力プルーフについては別途費用がかかります。
※再入稿した際の出力プルーフについても別途費用がかかります。

注) 締切日直前に入稿が集中しますので、余裕を持った入稿をお願いいたします。
また、弊社で入稿原稿のデータを修正することは原則ございません。

◆ その他、ご不明な点がございましたら担当者にお尋ね下さい。

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03-5644-7447 FAX.03-5644-7405